

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第46週の発生動向

### 全数報告の感染症 (46週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：つつが虫病3例。5類感染症：アメーバ赤痢1例、ウイルス性肝炎1例、梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	結核性リンパ節炎	左頸部リンパ節腫脹
		都城	80歳代	女	無症状病原体保有者	—
		延岡	0~4歳	女	無症状病原体保有者	—
4類	つつが虫病	宮崎市	70歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口
		小林	60歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
			70歳代	男	—	発熱、刺し口、倦怠感
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	40歳代	男	腸管アメーバ症	下痢、粘血便、腹痛、大腸粘膜異常所見
	ウイルス性肝炎	宮崎市	40歳代	女	B型	全身倦怠感、褐色尿、肝機能異常、黄疸、発熱 ワクチン接種歴なし
			80歳代	男	無症状病原体保有者	—
	梅毒	宮崎市	80歳代	女	無症状病原体保有者	—

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は696人(定点当たり21.6)で、前週比102%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

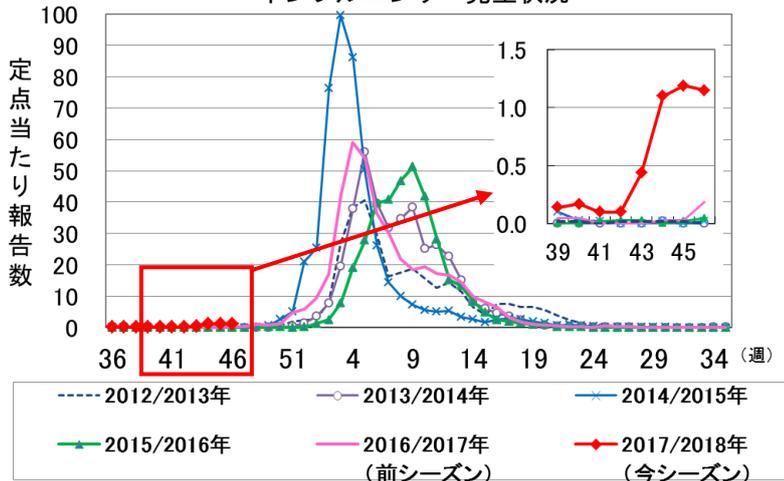
報告数は68人(1.2)で、前週比97%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.05)の約23倍である。日南(6.4)、小林(2.4)保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。

##### 【咽頭結膜熱】

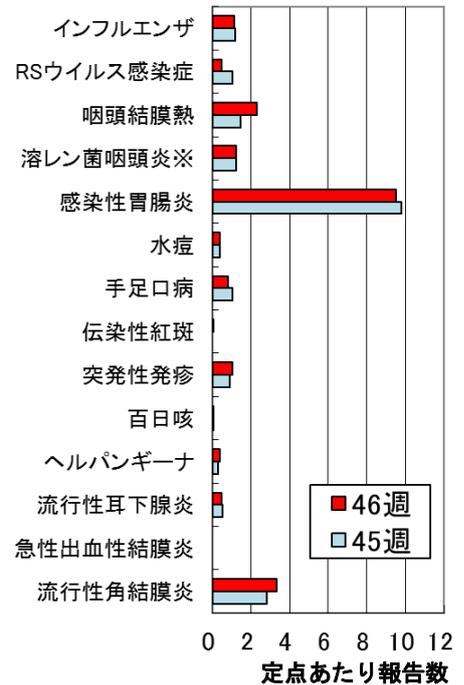
報告数は83人(2.3)で、前週比157%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(1.1)の約2.1倍である。都城(7.5)、中央(6.0)、小林(5.7)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約4割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

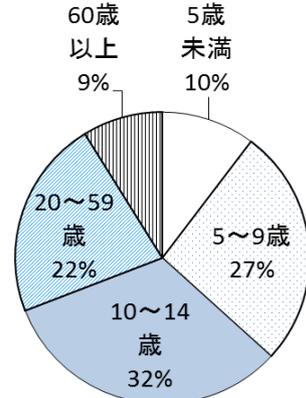
インフルエンザ 発生状況



《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎  
インフルエンザ 年齢群別割合

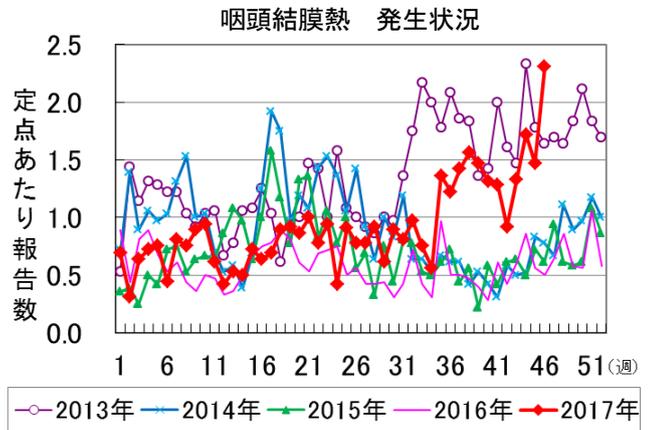


★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日南、高鍋(各 1 例)保健所から報告があり、いずれも 10 歳代であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(7.5)
延岡	なし
日南	流行性耳下腺炎(4.3)
小林	咽頭結膜熱(5.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(6.0)



\* 流行警報レベル開始基準値\*

・咽頭結膜熱(3.0)

\* 流行注意報レベル基準値\*

・流行性耳下腺炎(3.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成 29 年 11 月 20 日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Salmonella Stanley (O4:d:1,2)	0~4歳	女	2017.11.09	-	便	2017.11.14

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
コクサッキーウイルスA10型 ノロウイルスGII(再掲)	0~4歳	女	2017.07.27	感染性胃腸炎、38.6℃、胃腸炎、 下痢、血便(タール便、黒色便)	便	2017.11.16

○胃腸炎症状のある幼児の便からノロウイルス GII の遺伝子検出に加え、コクサッキーウイルス A10 型が分離された。胃腸炎の起因ウイルスとして、ノロウイルスが知られているが、当所においては今年に入り、胃腸炎症状のある患者からノロウイルスの他、ロタウイルス、エコーウイルス 6 型、アデノウイルス 2 型、アデノウイルス 5 型、パレコウイルス 1 型も分離・検出されている。

🇯🇵 全国 2017 年第 45 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 45 週)

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	338 例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	48 例	腸チフス	1 例	
4類感染症	E 型肝炎	7 例	A 型肝炎	1 例	つつが虫病 19 例
	デング熱	6 例	日本紅斑熱	2 例	ブルセラ症 1 例
	レジオネラ症	34 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	17 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 22 例
	急性脳炎	12 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 8 例
	後天性免疫不全症候群	18 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	46 例	水痘 (入院例)	4 例	梅毒 95 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	風しん	1 例	麻しん	1 例	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 112% と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナである。

咽頭結膜熱の報告数は 1,984 人(0.63)で前週比 124% と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\* (0.33) の約 1.9 倍である。北海道(3.4)、山形県(1.9)、宮崎県(1.5)からの報告が多く、年齢別では 1~4 歳が全体の約 6 割を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,914 人(2.2)で前週比 116% と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\* (1.8) の約 1.2 倍である。山形県(4.3)、鳥取県(4.2)、北海道(3.6)からの報告が多く、年齢別では 4~6 歳が全体の約 4 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第46週(11月13日～11月19日)

疾病名		第45週	第46週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	70	68	9	7	2	32	12	4	1	1	
	定点あたり	1.19	1.15	0.56	0.70	0.29	6.40	2.40	0.67	0.50	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	38	18	3	4	5		1	2	1	2	
	定点あたり	1.06	0.50	0.30	0.67	1.25	0.00	0.33	0.50	1.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	53	83	6	45	3	4	17	2			6
	定点あたり	1.47	2.31	0.60	7.50	0.75	1.33	5.67	0.50	0.00	0.00	6.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	45	44	15	5	11	5	3	2		2	1
	定点あたり	1.25	1.22	1.50	0.83	2.75	1.67	1.00	0.50	0.00	0.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	352	342	90	55	53	45	35	17	6	33	8
	定点あたり	9.78	9.50	9.00	9.17	13.25	15.00	11.67	4.25	6.00	8.25	8.00
水痘	報告数	14	14	4		3		4	2			1
	定点あたり	0.39	0.39	0.40	0.00	0.75	0.00	1.33	0.50	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	37	30	6	3	5		1			15	
	定点あたり	1.03	0.83	0.60	0.50	1.25	0.00	0.33	0.00	0.00	3.75	0.00
伝染性紅斑	報告数		3		2		1					
	定点あたり	0.00	0.08	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	32	37	11	4	9	3	3	2		4	1
	定点あたり	0.89	1.03	1.10	0.67	2.25	1.00	1.00	0.50	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数	3	3								3	
	定点あたり	0.08	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	14	7	3		1	1	1		1	
	定点あたり	0.31	0.39	0.70	0.50	0.00	0.33	0.33	0.25	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	20	18	1		2	13	1			1	
	定点あたり	0.56	0.50	0.10	0.00	0.50	4.33	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	20	9	9	2						
	定点あたり	2.83	3.33	3.00	4.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	3	2				1		1			
	定点あたり	0.43	0.29	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～46週)

2類感染症	結核	169例(3)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例			
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	13例	つつが虫病
	日本紅斑熱	7例	レジオネラ症	9例	レプトスピラ症
5類感染症	アメーバ赤痢	3例(1)	ウイルス性肝炎	5例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	後天性免疫不全症候群	10例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症
	水痘(入院例)	2例	梅毒	16例(2)	破傷風
	麻しん	1例			

( )内は今週届出分、再掲